

intertek

news

Vol.69

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 コロナ禍の認証活動

02 特集 03 SDGs経営に役立つISO14001(2)

04 News&Topics

- ▶ 2020年世界認定推進の日
- ▶ オンラインセミナー開催
- ▶ UKAS監査(リモート)
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社ハースト婦人画報社/株式会社ハースト・デジタル・ジャパン)

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「映画を見ながら思うこと」
(審査員 山本 正明)
- ▶ 環境とISO14001
「海洋プラスチック汚染」(その2)

07 お客様からのお便り

- ▶ 「世界初から世界のTakeuchiへ」
(株式会社竹内製作所)
- ▶ 「人が輝くISO活動を目指して」
(株式会社茨城製砥)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(審査員 玉城 武則)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所 ◇本誌に関するお問い合わせは大阪事務所まで◇

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>

コロナ禍の認証活動

つつみ ともりの
QMS認証部 スキームマネージャー補佐 堤 倫礼

今回のコロナ禍において、私どもは、グローバルにて決めました“Contingency Plan COVID-19 (新型コロナウイルス感染症への緊急時対応策)”及び皆様の安全を考慮し、また、経済活動の継続と社会的責任の観点から、審査事業を継続いたしました。



政府及び地方自治体より、「人と人との接触機会を極力8割削減する」との目標の設定と要請がなされ、弊社では、審査時における皆様への新型コロナウイルス感染防止のため、マネジメントシステム審査につきましては「リモート審査(遠隔審査)」を導入し、実施してまいりました。私自身も審査活動を実施しておりますが、1月以降、訪問審査を行う場合は、常に窓をあけて換気を行い、対面ではなく対角線上や互い違いに着席し、お客様とのコミュニケーションを最小限に抑えてインタビューを実施し、また、万が一に備えて自分の動線の明確化など様々なリスク低減対策に努めてまいりました。

リモート審査に関しましては、インターテック・サーティフィケーションでは以前から、他の事業部門においてリモート審査の準備を行っていたこともあり、日本の審査機関の中では、早い段階で導入することが出来ました。私も数件のリモート審査を様々なコミュニケーションツールを使用して実施いたしました。お客様側でスマートフォンを現場に持ち込んでくださり、現場での審査も実施出来た事例もあります。反面、訪問審査を行うときに比べれば、現場を歩いたときの靴の滑り具合、匂い、ダストの量などから、その原因を追求し、改善のご提案を行うというレベルまでには、リモート審査では行きつけなかったのも事実です。今日のICT(情報通信技術)の進歩と今回のリモート審査の課題を改善につなげ、より良いリモート審査の実施を検討してまいります。

最後に、この状況下にておいて審査にご協力いただいたお客様、リモート審査など新しい手法に取り組んでくれた審査員、日々移り変わる状況にてお客様との日程の再調整、臨時の認証登録証明書の発行等の対応にあたってくれた事務所スタッフ、すべての関係者の皆様に感謝を申し上げます。

まだ、先の見えない、この難局を関係するすべての人々と共に連携をし、乗り越えていければと存じます。

Be Safety ご安全に